

〔防災特集〕 守らなきゃ！

私たちの津波対策

9月5日(日)23時57分、東海道沖を震源地とするマグニチュード7.4(最大震度5弱)の地震が発生し、田原市でも震度4を観測(赤羽根支所)しました。この地震により津波警報が発令され、深夜、自動的に市内一斉の啓発放送が流れたことは、まだ皆さんの記憶に新しいかと思います。

田原市は太平洋と三河湾に面し、宿命的に津波の危険にさらされています。広報たはらは、今年5月号で津波発生メカニズムなどを特集しましたが、この機会に、津波についてもう一度考えてみましょう。 防災対策室 ☎23局3548

地震と津波のダブルパンチ!?

10月23日(土)に発生した新潟県中越地震は、私たちに大きなショックを与えました。テレビや新聞の報道を見て心を痛めると同時に、わが家の防災対策を見つめ直した方も多いでしょ。

この新潟県中越地震は、内陸の活断層を原因とする直下型地震でした。一方、私たちの地域で心配されている東海地震、東南海・南海地震は、海洋のプレートを原因とする海溝型地震で、特徴は言うまでもなく津波を引き起こすことにあります。

つまり私たちは、通常の地震対策だけでなく、さらに津波対策も考える必要があるのです。

津波が来ても大丈夫?

田原市の沿岸部や河口部には、過去の台風による災害をきつかけに、堤防や護岸施設などが整備されています。そのため、市内の一部地域では、津波による越水被害の可能性は

少ないと考えられるものの、地盤沈下や施設の老朽化に対応していく必要があります。

また、これらの施設が地震の外力や地盤の液状化で破壊されたり、水門・水路などが決壊したりする不測の事態も予想されます。したがって田原市は、沿岸部にいる市民や観光客、漁船などが安全に避難できるような情報伝達施設の整備をすることも、自主防災会の避難訓練を支援するなどしています。

危険な区域は、どこ?

愛知県は、津波で人や住居などに被害を受ける危険があると予想される地域を「津波浸水危険地域」に指定しています。

田原市の津波浸水危険地域は「田原市防災マップ」(今年10月発行・全世帯に配布済み)に記載してありますので、ぜひご確認ください。



防災マップには、災害時に役立つ情報が満載です。定期的に目を通すようにしましょう。